

LEDロープライトの取扱について

- 13mmφロープライトの電源コードの取り付け方・注意事項
- 11mmφロープライトの電源コードの取り付け方・注意事項

準備する工具

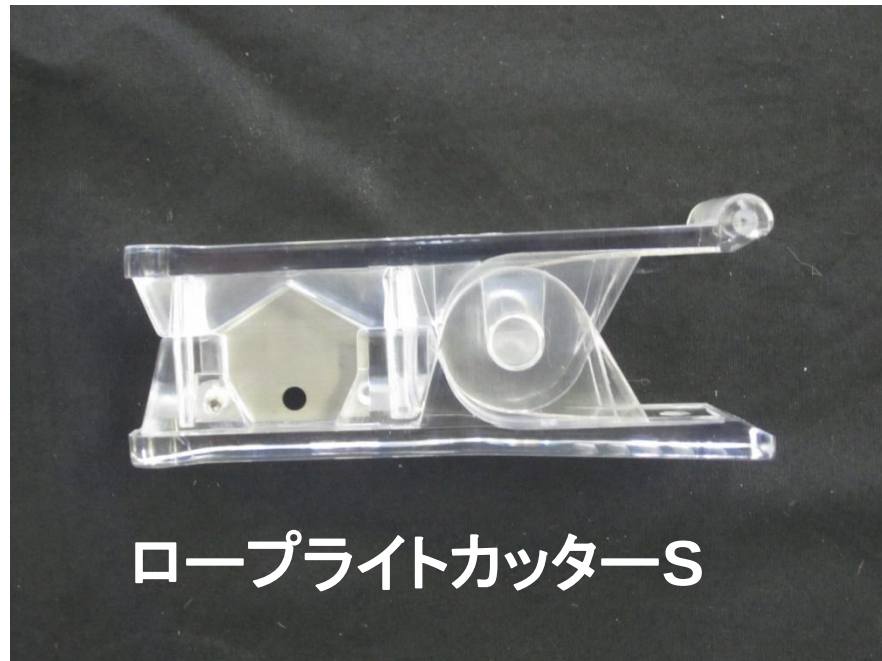
工具



ニッパー
ロープライトカッターS
キリ

POINT

あると非常に便利！！

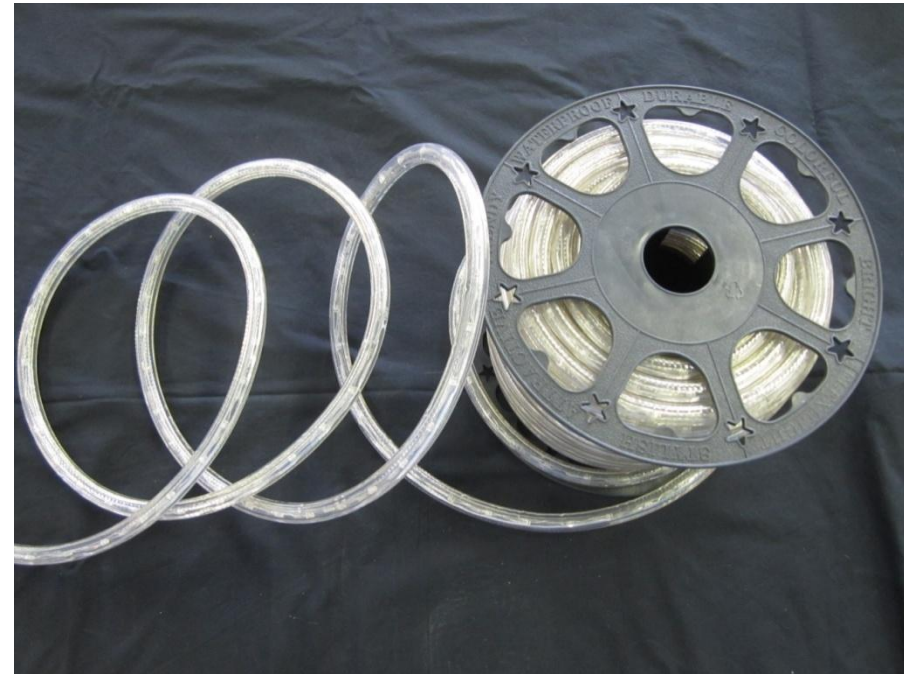
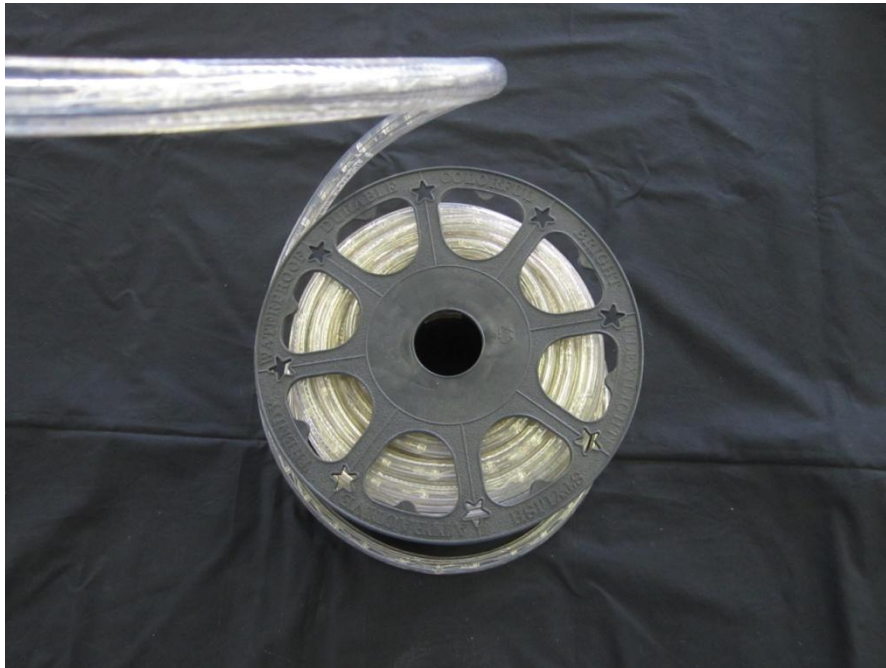


ロープライトをきれいに切断

Φ13mm ①ロープライトの取り出し方



ロープライトは取り出し方によってはねじれて使い物にならなくなります！！

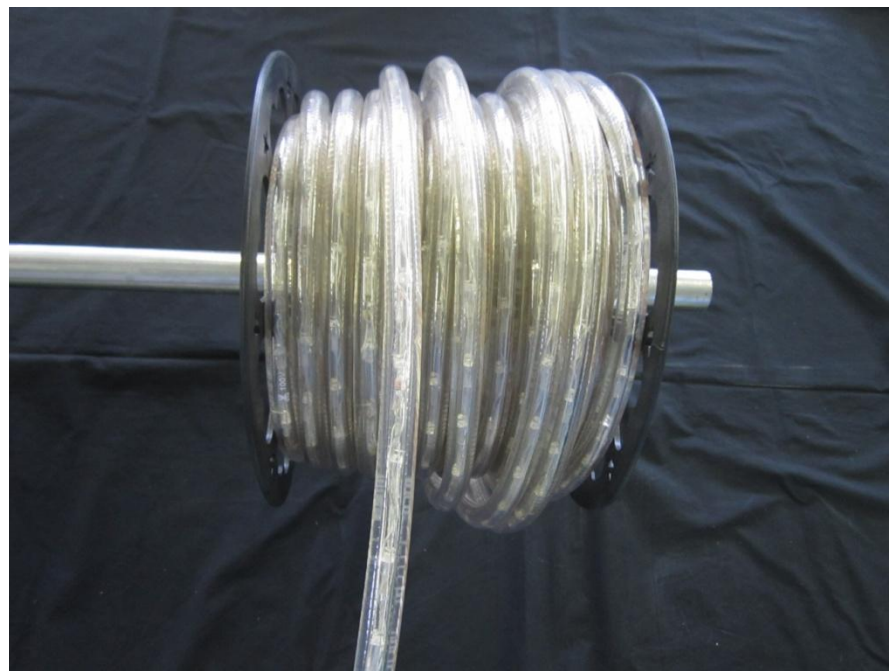


画像のようにロープライトを取り出すと、ロープがねじれてしまい、非常に扱いづらくなります。

Φ13mm ①ロープライトの取り出し方

 POINT

パイプ等に通し、まっすぐ出すとねじれません。



Φ13mm ②切断

ハサミマーク

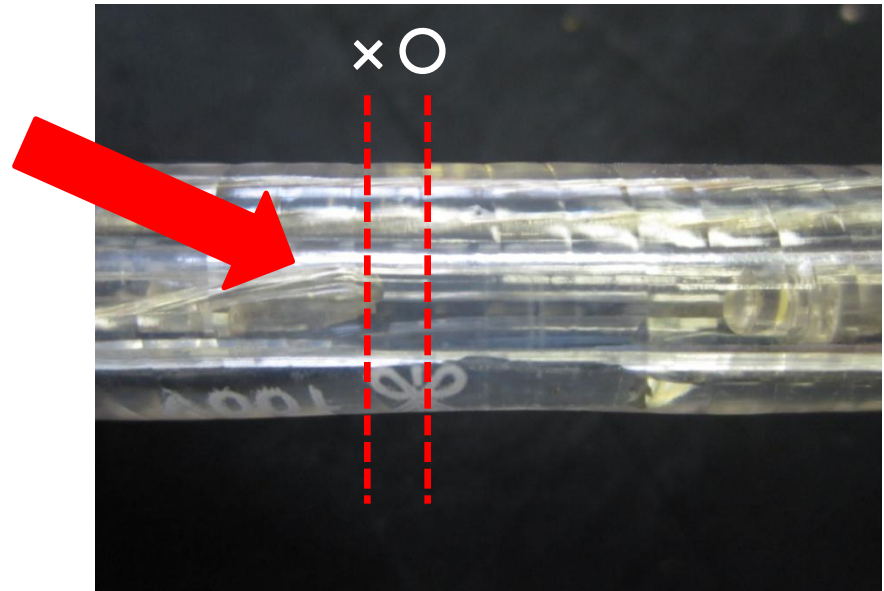


このマークの所で
切断します。

👉 POINT

ハサミマークの印刷が配線に掛かって
しまっている事があります。
配線に注意して切断してください。

配線

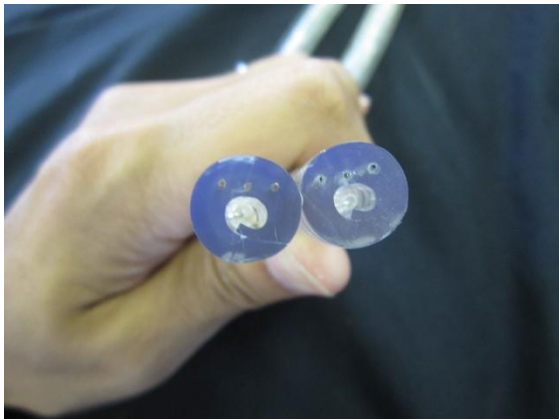


Φ13mm ②切断

切断にロープライトカッターSを使用すると



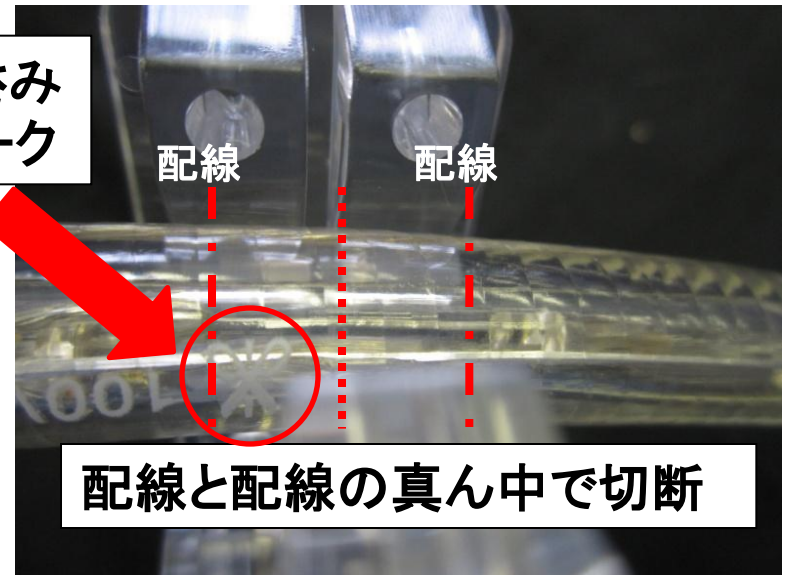
きれいに切断することができます。



POINT

配線が目視で確認できる場合は、
配線を大きく避けて切断する。

はさみ
マーク

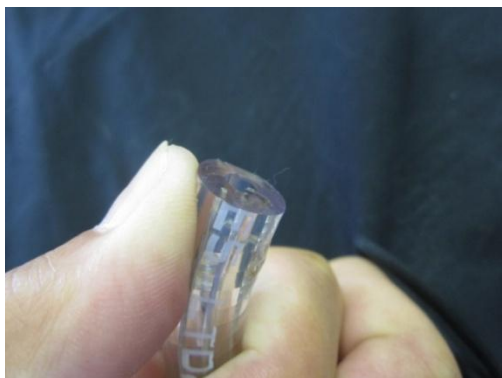


配線と配線の真ん中で切断

Φ13mm

③エンドキャップ取り付け

余分なワイヤーをカットします。



ロープライトを曲げます。

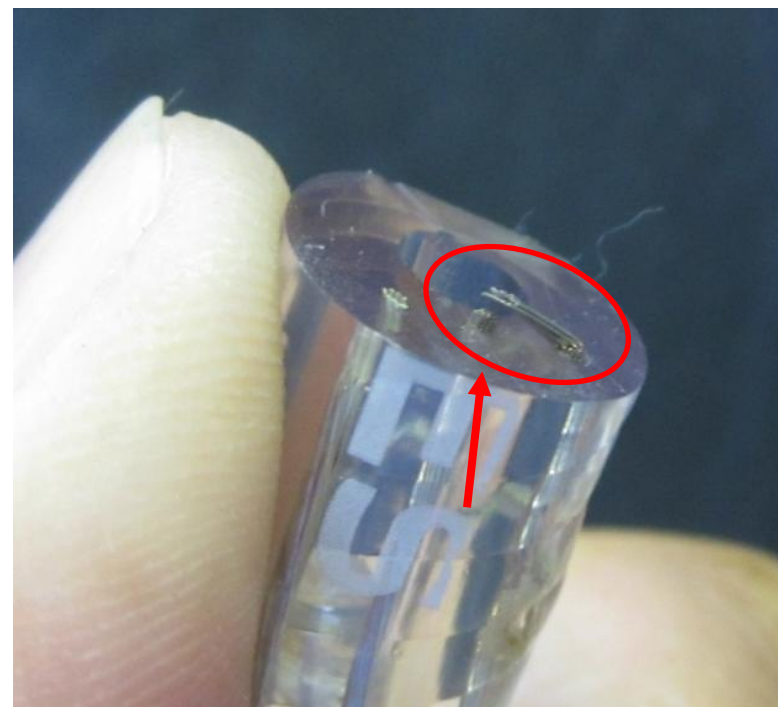


出てきたワイヤーをカットします。



危険

ワイヤーをそのままにしておくと
ショートする恐れがあります。



Φ13mm ③エンドキャップ取り付け

エンドキャップを取り付けます。



※必ずエンドキャップから
取り付けてください。



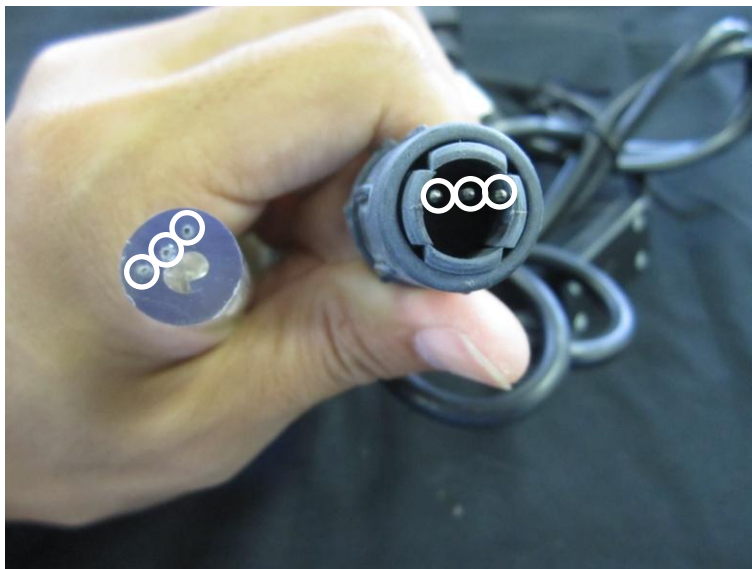
POINT

エンドキャップにシリコンを入れてから取り
付ければ、そのまま防水も出来ます。



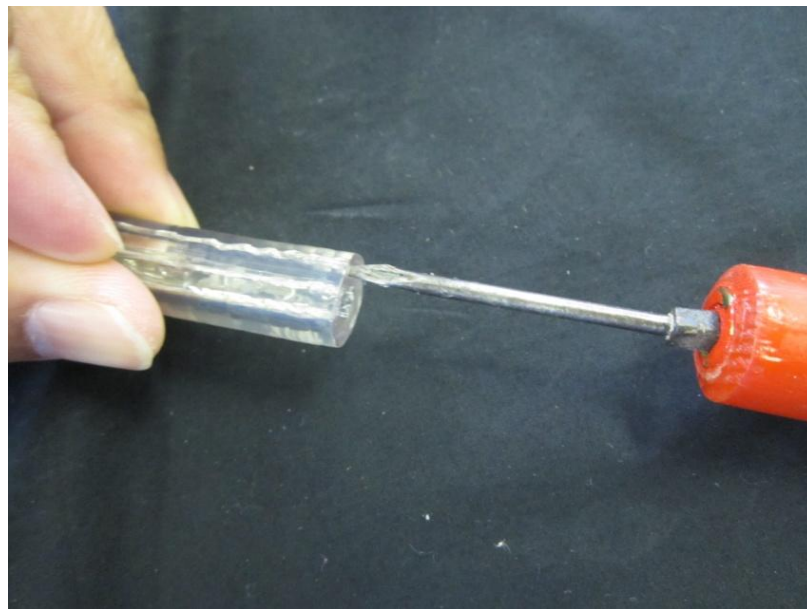
Φ13mm ④差し込み

電源コードの針をワイヤー部分に刺し込みます。



POINT

キリ等をワイヤー部分に差し込んで、穴を広げれば、ピンが刺さり易くなります。

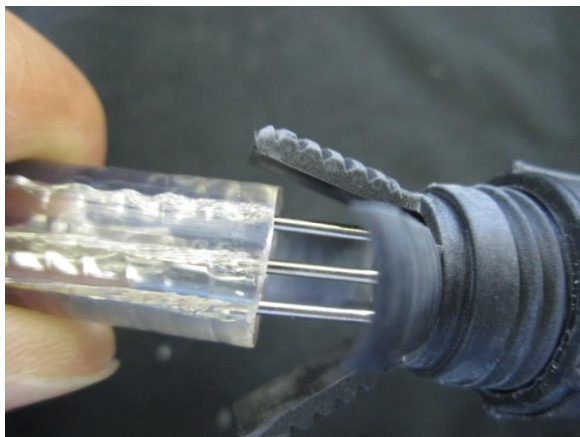


Φ13mm ④差し込み

カバーを広げます。

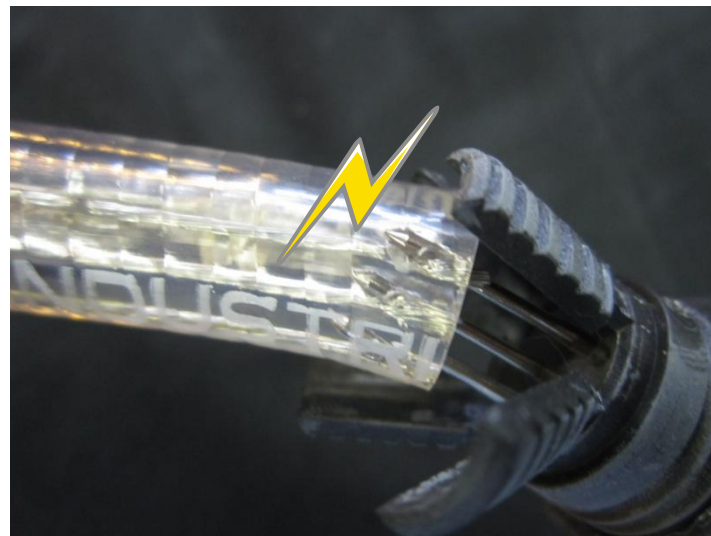


針をまっすぐ差し込みます。



危険

無理に差し込むとピンを曲げたり、他のワイヤーに貫通しショートさせてしまいます。



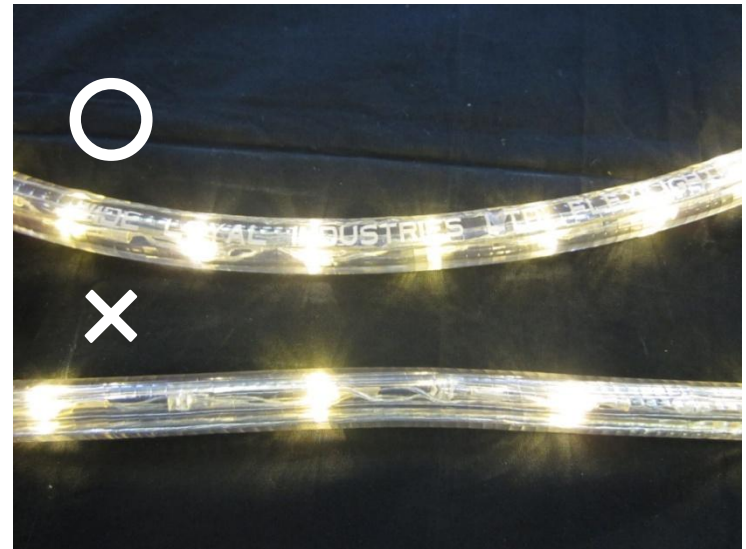
Φ13mm ⑤点灯確認



この時点で一度点灯確認をします。



1球飛び不点灯は気付かない場合がありますので注意して見て下さい。



Φ13mm ⑥完成



キャップをしっかりと締めて完成です。



キャップを締める際、電源側の方をしっかりと持ち、キャップを回すようにして下さい。

このままでは一切防水機能はありません。屋外で使用する際は必ず、自己融着テープか防水用収縮チューブで防水処理を行って下さい。



Φ13mm ⑦防水処理

防水用収縮チューブの使い方



ドライヤーで加熱し、収縮させます。



POINT

防水用収縮チューブを使用すれば
簡単に防水加工ができます。



Φ11mm ①切断

ハサミマーク



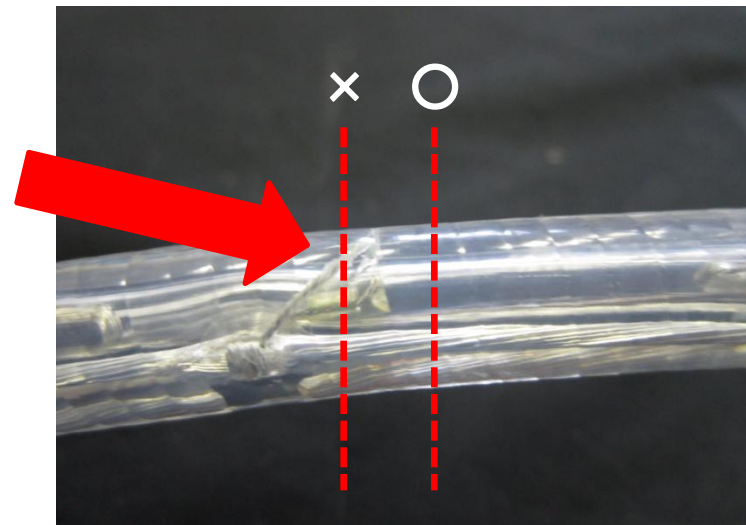
このマークの所で
切断します。



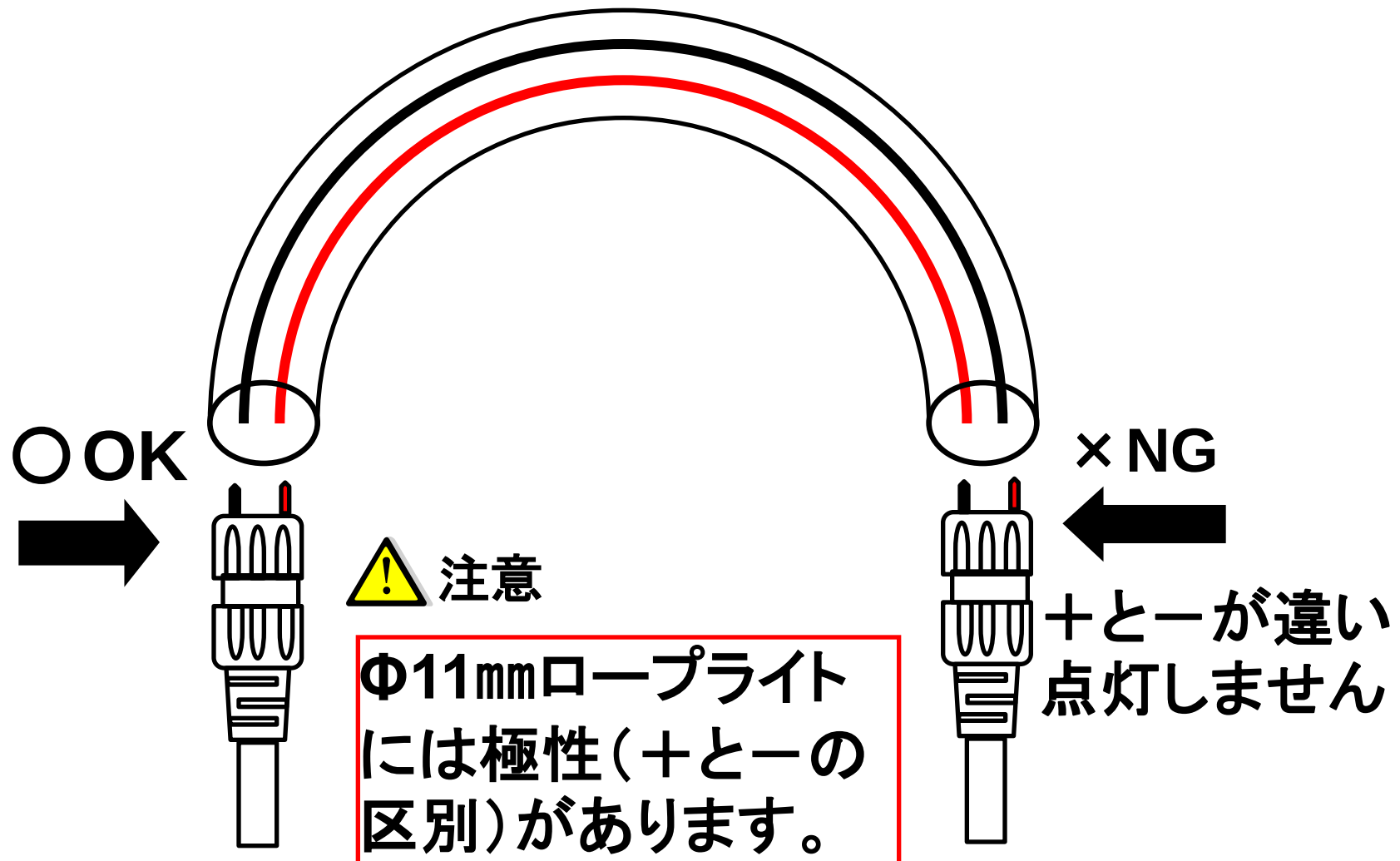
POINT

ハサミマークの印刷が電線に掛かって
しまっている事があります。
配線に注意して切断してください。

配線



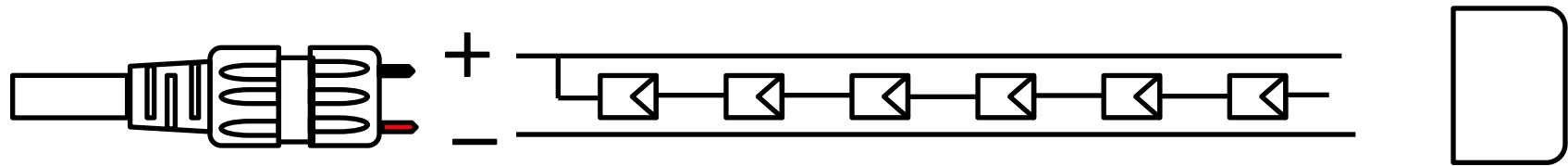
Φ11mm
要注意！！



Φ11mm
要注意！！

電源コード側

エンドキャップ側



LEDの向きを確認し、LEDの後ろ側が電源コード側となっています。念のため、電源コードを差しこんで点灯確認を行ってください。

Φ11mm 差し込み



この時点で一度点灯確認をします。



点灯しない場合、反対側から接続を試みてください。

11mmφロープライトは13mmφに比べワイヤー同士が接触しやすいので十分注意してください。



針により、ワイヤー部分が破損

Φ11mm 差し込み

キャップをしっかり締めて完成です。



キャップを締める際、電源側の方を
しっかり持ち、キャップを回すようにし
て下さい。



POINT

防水用収縮チューブは
11mmφのロープライトにも対応します。



隙間なく密着

屋外で使用する際は必ず防水処理を
行って下さい。